

きみがき圭子 やない克子 区議会ニュース

2022年第一回定例会 報告号

2022年2月4日(金)～3月15日(火)練馬区議会第一回定例会が開催されました。

◆ 2022年度予算に反対

No!

2022年度一般会計予算は、約2,912億4,400万円と過去最高額となりました。

予算編成にあたって区長は「施策の優先順位を見極め、不要不急の歳出を削減し、限りある財源を効果的・効率的に活用していかなければならない」と述べています。しかし新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、基本設計だけで約4,300万円という美術館の再整備、住民合意のないまちづくりや道路計画は「今やるべきこと」ではありません。今は医療や保健所の体制強化を優先すべきです。

また、失業や減収で生活に困窮する区民が増え、安心して暮らせる住まいの確保への支援も急ぐ必要があります。

区の職員の58%が1年毎の見直し、更新は最長4回まで、という会計年度任用職員です。その約9割が女性であり、しかも相談員や保育・教育・介護に携わる職務が多いことは、非正規雇用を増やす視点で問題があります。

上がり続ける国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の保険料は、区民の生活を圧迫し、持続可能な制度ではありません。抜本的な制度の見直しを国に求めるべきです。

◆ 谷原保育園の閉園は見直しを！

Stop!

昨年11月、区立谷原保育園が2022年度の新規入園を最後に、在園児が卒業する2028年に閉園することが保護者に伝えられました。あまりにも突然のこと、しかも2022年度の1次入園申し込みを締め切った後のことで、保護者からは驚きと反対の声があがりました。

私たちも11月の財産価格審議会で「谷原保育園隣接の生産緑地を買取った」と報告があり、初めて閉園することを知りました。

区の計画は現在の谷原保育園は築55年と老朽化が進んでいるため、買い取った隣地を民間事業者が無償で貸して保育園を建ててもらい、現在の区立保育園を閉園するという内容です。しかし谷原保育園の老朽化についても今回出てきた話です。

新園の完成予定の2024年には現在の園児は優先的に転園できると区は簡単に言いますが、子どもにとって慣れ親しんだ環境が変わるといことがどれだけ大きな負担になるか全く考えていません。

しかもまだ事業者は決まっていなのです。これまで区の職員として、また保育士として誇りをもって区立保育園に尽力してきた保育士の方たちに対しても誠意が見られません。計画は白紙に戻すべきです。突然の閉園には反対です。



区議会議員 やない克子

議会運営委員会

区民生活委員会／交通対策等特別委員会

ホームページ <https://yanai.seikatsusha.me>



区議会議員 きみがき圭子

文教児童青少年委員会

／総合・災害対策等特別委員会

ホームページ <https://kimigaki.seikatsusha.me>



増収分は区民の生活支援に！◆2021年度補正予算に反対

年度末の補正予算は、当初予算とその後今回も含めて7回の補正予算に対して事業の執行状況を反映し、最終的に調整するためのものです。

● 生活実感は厳しいのに、企業収益が堅調に推移し税収入が増加!?

増収分は、基金(貯金)の取り崩しをやめ、逆に積み増しに。さらに起債(借金)を取りやめ。

既に104億円ある用地取得基金(道路や公園などの用地取得のための基金)に23億7,600万円プラス

● 財政は厳しいと廃止・縮小した給付事業

高齢者の紙おむつ支給や配食サービス、いきいき健康券、第3子祝金などなど…増収でも、復活せず

● 感染症対策として生活困窮者支援は拡大したが…

生活困窮者自立支援金 見込み数:4,000件 ⇒ 実績:1,359件

収入要件・資産要件など、ハードルが高いため対象者限定⇒1億6,380万円の減額

● 区民の生活に焦点を当てた区政への転換を

コロナ禍による困難の中にある区民の声に耳を傾け、増収分は今後、区民の生活支援と格差是正に充てられるような財政の計画を立てるべき。

◆区立施設の浴室、どう考える？

新型コロナ感染症の拡大防止のため休止している、敬老館や地区区民館などの浴室について、区は「休止前の利用状況、再開の際に生じる修繕費、再開後の運営費等を考慮しながら今後のあり方を検討」すると考え方を示しています。

敬老館から街かどケアカフェへの機能転換計画の際に必ず出てくるのは「入浴施設をなくさないで」という意見です。感染症拡大を経て区立施設の浴室の利用についての区民の意識や利用者数に変化が生じるか、まだわかりませんが、一人で入浴することの不安やお風呂掃除などの負担の声が寄せられているのも事実です。

区は、ひとり暮らし高齢者入浴証を支給していますが、申請者は年間約4,000人。公衆浴場は減少していることもあり、代替策とは言い難い状況です。

区立施設の浴室について、ぜひ、みなさんのご意見をお寄せください。



暮らしの不安、困りごとは地域包括支援センターに相談を

入浴の不安を訴える人の中には、実は介護が必要な状況だったというケースもあるとのこと。地域包括支援センターの一人暮らし・高齢者のみ世帯への訪問支援事業から要介護認定につながる事例もあります。地域包括支援センターの役割は、高齢者の暮らしの不安を受け止め支援につなげることに。気軽にご相談ください。

<あなたの意見を区政へ>

生活者ネットワークは、地域の課題や生活者の声を集めて、区政につなげています。



information 第二回定例区議会 2022年6月1日(水)~6月21日(火) 予定

※本会議はインターネット動画配信(生中継)でも傍聴できます。

区議会ニュース第一回定例会報告号 2022年3月15日 発行 きみがき圭子 やない克子

〒176-0001 練馬区練馬 1-15-1-302 練馬・生活者ネットワーク TEL:03-3993-4899

FAX:03-5999-4632 web ページ <http://nerima-seikatsusya.net/>

mail net-gikai@jcom.home.ne.jp ご意見・ご質問をお寄せください

